

Leaf

リーフ

地域連携だより

ときわ会 常磐病院では、
地域の医療施設・介護施設との
連携を強化するため、
当院の最新の医療情報を定期的に
お知らせしております。

Vol.
44

2022年3月31日発行

常磐病院 循環器内科医師紹介

～佐藤 亜紀医師へのインタビュー～

循環器内科の佐藤亜紀医師にインタビューをおこないました。
ぜひご覧ください。



Cardiology Doctor

循環器内科医師のご紹介

佐藤 亜紀

SATO Aki

●資格

日本内科学会 認定内科医

日本循環器学会 専門医

日本核医学学会

日本心不全学会

NUCB Healthcare MBA® Track

グロービス経営大学院大学 経営学修士(専門職) 2022年取得予定

●経歴

平成10年3月 旭川医科大学医学部卒業

平成10年5月 旭川医科大学 内科学講座 循環呼吸神経病態内科分野

平成16年7月 医療法人北辰会 恵み野病院 循環器内科

平成29年4月 ときわ会常磐病院

佐藤先生が医師を目指したきっかけを教えてください。

私が7歳の時、2歳の妹が喘息の重責発作を起こしました。近くの病院では「かかりつけではないから」との理由で3件断られ、最終的には県立中央病院で治療をしてもらった事がありました。その時、死にそんなほど苦しそうな妹を見て「自分の人生にこのような悔しい思いを2度としない。自分がそばにいる大事な人は自分の力で助けられる人になりたい」と思い、医師を目指しました。

ペットの「ふうた」です



インタビュー INTERVIEW



Q1 遠隔診療について

A1 「オンライン診療」とも呼ばれていますね。私が診療をおこなっている「睡眠時無呼吸症候群」は、日中の診療で問診から夜間のいびきを確認することは難しく、夜間無呼吸を機器を用いてモニターすることで治療効果を判定します。このモニターができれば、オンライン診療は対面診療と同様の治療効果が得られると実証されたため、厚労省から睡眠時無呼吸症候群のオンライン治療が認められたという経緯があります。「仕事もあるし平日は病院に行きづらい」などの理由で睡眠時無呼吸症候群の治療を継続できない事例も多数あります。潜在的な治療のニーズに応えるツールとしてオンライン診療が適していましたので「ぜひやってみよう」と始めました。

Q3 今後医師として取り組みたいこと

A3 新型コロナの影響で受診を控えている方も見受けられますので、内科的な悩みを抱えている方に対し、オンライン診療を用いて広く応えてあげることができないか、と考えています。また現在、いわき市医師会が中心となって心不全の患者様を地域で皆で医療サービスを提供し守っていこうという取り組みが行われています。当院も、地域医療包括ケアの枠組みの中で協力医療機関の一端を担い、患者様への健康啓発や医療的サポートを充実させていきたいと考えています。

Q2 「睡眠時無呼吸」について

A2 睡眠時無呼吸症候群の診察では、現在110名の患者様がいます。そのうち全体の48%にあたる53名がオンライン診療を選択されています。一般的には自覚症状がない事が多いのですが、意外な症状、例えば「夜間頻尿」なども睡眠時無呼吸症候群の症状として現れることがあります。あとは運転中の居眠り事故を契機に発見される場合もあります。



Q4 いわき市内の医療機関の皆様へメッセージをお願いします

A4 いつもご紹介をいただき誠にありがとうございます。要望に応える診療に努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

ありがとうございました。



ときわ会常磐病院では、診療科の増加に伴い診察可能な疾患も増えました。患者様のご紹介に関しまして、今後もお気軽にお問い合わせくださいますようお願いいたします。

公益財団法人ときわ会 常磐病院 (院長 新村浩明) 地域医療連携課

窓口受付/毎週月曜日～金曜日 8:30～17:00

〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台57番地

TEL:0246-43-7399 / FAX:0246-43-7000